

## 校歌

一  
朝の光にそめられて  
かがやく山なみ日はのぼる  
小鳥の歌を聞きながら  
みんなの笑顔になる  
学びの聲がひびきあう

二  
木々は緑に香りたち  
平家平に雲が行く  
窓辺で語る若人の  
あこがれ希望はたしなく  
未来へ世界へはばたくよ

三  
森は命を育んで  
流れ集めて吉野川  
ふるさと人の愛を知り  
たゆまぬ励み誓い合い  
明日への道を拓こうよ

## 旅立ちの日に

一  
白い光の中に山なみは萌えて  
遙かな空の果てまでも君は飛び立つ  
限りなく青い空に心ふるわせた  
自由を駆けよふり返ることせず  
勇気を翼にこめて希望の風にのり

二  
懐かしい友の声ふとよみがえる  
意味もないいさかいに泣いたあのとき  
心がよつたうれしさに抱き合ったとき  
みんなすぎたけれど思い出し強く抱いて  
勇気を翼にこめて希望の風にのり

いま、別れのと  
飛び立とう未来信じて  
弾む若い力信じて  
このひろい大空に  
このひろい大空に  
くりかえし